



## 忍者の里、湖南 歴史を活かして地方創生

誠心会 ● **すがぬま 利紀** 議員

**湖南市も誇れる甲賀流忍者について**

**問** 湖南市が甲賀忍者の里であるという認識が薄れているのでは。

**答** 大河ドラマ「真田丸」で猿飛佐助も注目を浴びてきていて、薄れているという認識はありません。

**問** 教育の場では、どのように教えているのですか。

**答** 歴史上、明確でなく、教育の場では特に取り上げていません。

**問** 湖南市には「甲賀五十三家」のうち九家が存在し、「荘内三家」といわれる鶴飼家、服部家、内貴家は、今も市内に存在しています。政府をはじめ、海外観

光者たちが注目する「NINJYA」の地は、

日本の中でも湖南、甲賀、伊賀の地であることをもっと発信するべきではありませんか。

**答** 大河ドラマでの注目を活用し、発信します。

**問** 甲賀市は、忍者を題材に多くの地方創生加速化交付金を活用していますが、本市は。

**答** 本議会の補正予算に関連するため、理解願います。

**問** 広域連携による観光促進の可能性は。

**答** 市ならではの観光の取り組みのなかで、可能な限り連携しながら推進を図ります。



「甲賀郡中惣」は15世紀に湖南市、甲賀市に存在していた住民自治組織です。その結束力が甲賀流忍者の原形と言われています。

## 防災！ 減災！！ 啓発!!!



無所属の会 市民の力 ● **あわづ 寛三** 議員

**問** 1月29日に職員向けドローンの研修会がありました。活用方法について各課でどのような案が出ましたか。

**答** 災害時のみならず、平常時でも砂防ダムや橋梁きょうりょうの状況、交通渋滞の状況確認、また、広報誌など印刷物の空撮、学校関係では人文字撮影や教材としての画像活用など、半数ほどの課で業務活用が可能です。



◀野洲川親水公園をドローンで空撮



**問** 南海トラフ地震を想定すると、本市では復旧時の通電火災が心配です。「感震ブリーカー」などの啓発が肝要ですが市の考えは。

**答** 様々な自助共助に結びつく防災減災の啓発に力をいれてまいります。

**問** 2月13日に実施されたHUG（避難所開設運用ゲーム）は、被災時に避難所となる学校を想定したものでした。成果はどのようなものでしたか。

**答** 有事の際に運営する方たちにより、地理的条件など細かなところまで話し合われたことでリアルなイメージができたものと感じます。今後の訓練で修正を加え、関係者の意識向上につなげたいと考えています。